



# 日本筆記具工業会ニュース

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-30-6

TEL 03-3891-6161 FAX 03-3802-9692

発行：日本筆記具工業会 広報委員会 平成 16 年 5 月 1 日 0 1 0 号

## 業界発展のために、 15 年度事業を積極実施

日本筆記具工業会の総務、流通、調査研究・広報、技術、国際の 5 つの委員会は、平成 15 年度の事業計画をほぼ計画通り実行しました。その報告と、来る平成 16 年度の事業計画を策定するべく、各委員会は年明けから活発な活動に入りました。1～3 月の活動を報告します。

### < 委員会・部会報告 >

#### 総務委員会(委員長：中村彰副会長) 2/18

1. 総務委員として廣瀬公一氏(株式会社パピラー社長)が新たに参画することになった。
2. 平成 16 年度の事業計画(案)策定を目的に各委員会の計画案の調整を行った。
3. (財)2005 年日本国際博覧会協会から申し出のあった、愛知万博前売入場券購入のお願いを会員企業に案内することにした。
4. かねてから要望のあった会員懇親ゴルフコンペ実施に向けて準備に入った。会の名称は「筆記具工業会ゴルフ親睦会」(会長・廣瀬公一委員)とし、初回開催は 5 月以降で調整することにした。

#### 流通委員会(委員長：堀江圭馬副会長)

流通小委員会(荒井宏明委員)は、本年 4 月 1 日から実施される消費税総額表示への対応を審議してきたが、年初に公表された流通団体等の要望を受けて、引き続き対応について調整を行った。この期間の委員会開催日程は次の通り。第 8 回 1/23、第 9 回 2/4、第 10 回 2/13、第 11 回 3/5。

#### < お客様相談窓口連絡会 > (神田勇部会長) 2/26

ボールペンレフィル互換性表については、技術委員会で検討・修正された案の一部、価格等の情報を追加し、本工業会ホームページに掲載することにした。

お客様相談対応に関する情報交換を行った。

お客様対応ガイドラインにつき審議をした。

平成 16 年度活動計画について討議した。

#### 調査研究・広報委員会(委員長:石川真一副会長) 3/19

1. 「ボールペンレフィル互換性表」のホームページ上のコーナー表題について検討した結果、「お役立ち情報」に決定した。当コーナーに追加する情報について検討、具体案を 4 月末日までに事務局に提出することにした。
2. 平成 16 年度年末講演会講師選定について審議した。
3. 平成 16 年度活動計画について討議を行った。

#### 技術委員会(委員長:数原英一郎副会長) 3/18

1. 平成 15 年度の各部会活動報告
  - ・鉛筆部会  
日本鉛筆工業協同組合と共同開発した「レコード式画線機」について。全国中小企業団体中央会の助成金を受けて 2 月に本機が完成した。ほぼ期待通りの性能を確保した。報告書は「鉛筆濃度測定機(新レコード式画線機)開発報告書」と題して発行。
  - ・シャープペンシル部会  
平成 15 年度活動について報告を行った。
  - ・ボールペン部会 下記部会報告参照
  - ・マーキングペン部会 下記部会報告参照
  - ・知的財産部会 下記部会報告参照
2. 平成 16 年度活動計画について討議を行った。
3. EWIMA 技術委員会報告
4. 油性/水性ボールペンレフィル互換性表について最終的な確認作業を行った。尚、呼称に関しては、「レフィル(替しん)」を採用した。完成版は、お客様相談窓口連絡会に提出し、本工業会のホームページにアップする。

#### < ボールペン JIS/ISO 部会 > (西本洋二部会長) 2/12

- ・ゲルインキボールペン JIS 原案の訂正箇所について各委員から了承を得た。同 JIS の番号が JIS S 6061 : 2004 「ゲルインキボールペン及びレフィル」と正式に決定したことを報告した。
- ・ゲルインキボールペンの国際規格化を目的に EWIMA 技術委員会に西本部会長と塩井委員が出席、その報告を行った。
- ・ミヒラズケトンについての情報収集を行った。

<マーキングペン JIS / ISO 部会> (長島功典部会長) 1/22. 3/25

・ JIS S 6037 : 2000 の 5 年見直しについて、調査結果を踏まえて再度、各項目について検討を加えた。検討した項目は、筆記性能、耐水性、耐衝撃性、耐光性、耐洗濯性、復元性、経時劣化性、遊離ホルムアルデヒド、他だった。

・ 直液式マーキングペンを JIS S 6037 に盛り込むか否かについては、「無理がある」という意見で一致した。今後の扱いとしては、マーキングペン JIS パート、パート といった扱いがあるとの意見も出された。また、JIS 化に至らなかった場合は、TS/TR 制度( )を活用することを確認した。

( )TS/TR 制度とは、先端技術分野等の技術進歩の早い分野において、日本工業規格として制定するには熟度の低いものについて、迅速かつ適切に標準情報(TS 及び TR)として開示することにより、オープンな議論を推進し、コンセンサスの形成を促し、JIS 化の促進を図るためのもの。

<知的財産部会> (長岡隆一郎部会長) 3/12

当工業会ならびに全日本文具協会、日本玩具協会、日本時計協会 4 団体の交流会を開催。それぞれの団体の活動報告と意見交換会が行われた。

**国際委員会(委員長:小川洋平副会長) 3/31**

EWIMA 技術委員会の報告と平成 16 年度活動計画の審議が行われた。

以下、EWIMA 技術委員会報告の概要。

### 1.2004 ペーパーワールドの印象(小川委員長談)

ペーパーワールド 2004 を視察して競争の激しさを実感しました。経済のグローバル化と情報技術の進展で、競争のスタイルが従来のそれと質的に変化してきているのです。出展者数はそれほど大きな変化はありませんが、この見本市から著名なブランドが姿を消していく現実を見て、我々も身を引き締めていかねばなりません。

ドイツを訪れて、会議を重ねることで、ISO(国際標準化機構)と EWIMA の密接な関係をつぶさに知ることが出来たことは大きな成果でした。ゲルインキボールペンの JIS/ISO 化にはこれからも時間を要しますが、これら国際提案を通じて得た経験を、工業会の共通認識としていければよいと思っています。

いろいろな意味で多難な時代ですが、勇気と知恵をもって果敢に進んでいきたいと思っています。

### 2. EWIMA 技術分科委員会報告

2/2、ペーパーワールド会場内の会議室にて、EWIMA ダニエル・バーン氏を委員会議長に、JWIMA と WIMA をゲストに、また、初参加の独スワン・スタビロのピーター・カンブ氏を交えて EWIMA 技術委員会が行われた。

### ゲルインキボールペンの国際規格提案

日本筆記具工業会は、EWIMA 技術委員会に「ゲルインキボールペン及びレフィル」の日本工業規格草案を説明。これを ISO へ提案したい旨の趣旨説明を行った。その後、質疑が行われ、本会議としては、次の申し合わせを行った。

JWIMA の提案は、EWIMA 技術委員会と EU 各国の筆記具製造業者の技術グループに通達する。

上メンバーのコメントを集約して、日本のゲルインキボールペン規格の窓口である西本ボールペン部会長に送付する。

日本、EU、米国における筆記距離測定方法に関する意見交換が行われた。他。

### 香りつき文具の扱いに関して

スイスでは数年前から、筆記具、描画材料に香料や芳香剤を使用することが、いやな臭いを覆う場合以外は認められていない。理由は「消費者の健康と安全を危険にさらす」ためとされている。EWIMA 事務局はこの報告を受けて、香料の付いた製品を市場に出すことを慎むように勧告している。

### 二酸化チタン(TiO<sub>2</sub>)問題報告

カリフォルニア州で二酸化チタン(TiO<sub>2</sub>)が、「高い発癌性が懸念される対象候補リスト」に載せられた旨の報告が米国から EWIMA 技術委員会にもたらされた。二酸化チタンは、重厚長大の産業から日用品分野まで広範に使用されているため、この報告は慎重に扱っていくことになった。

これを受けて、EWIMA は EU における同物質の見解について調査した結果、法的状況はカ州のそれとかなり違っており、有害が懸念される物質としても挙がっていない状況だった。一説では二酸化チタンには異なる構造の 2 種があるという意見もあり、今後情報収集をしていくことにした。

### 3. 36 ヶ月未満の幼児に対する表示について

EWIMA 事務局から CE(安全確保用具)マークの文具等への表示についての助言があった。EWIMA は、CE マークの表示対象である玩具と、通常の消費財である文具は異なる商品分類にあるため、文具に CE マークを付けることは認められていないとした上で、一部の玩具として分類される色塗り製品の扱いにおいても、マークではなく危険要素を表示した警告文を使用することの方が望ましいとしている。(詳しい内容については事務局まで)

(以上委員会・部会報告)

## グリーン購入法特定調達品目の市場形成状況について

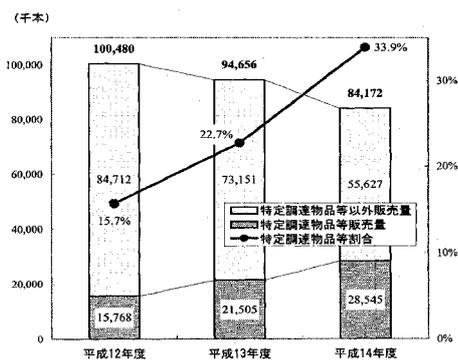


図 3-2 特定調達物品の国内出荷量及び割合（シャープペンシル）

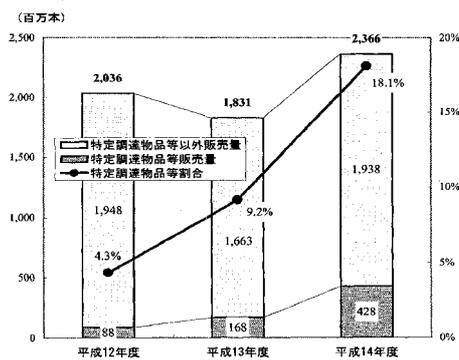


図 3-3 特定調達物品の国内出荷量及び割合（替芯）

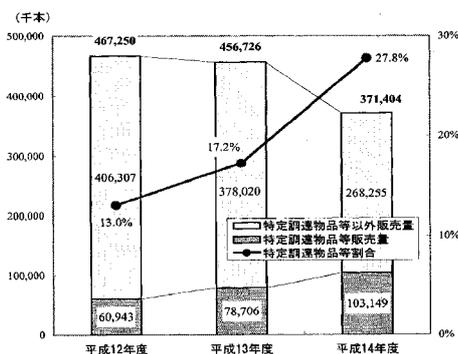


図 3-4 特定調達物品の国内出荷量及び割合（ボールペン）

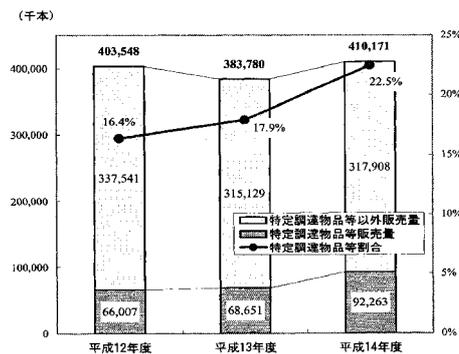


図 3-5 特定調達物品の国内出荷量及び割合（マーカーペン）

環境省よりグリーン購入法特定調達品目の市場形成状況についてHP上で公表がありましたので、筆記具の部分について概要を報告します。詳細をお知りになりたい方は下記にアクセスください。

環境省 <http://www.env.go.jp/press/press.php3?serial=4842>

### お知らせ

万年筆・シャープペンシル・ペン先の製造業、マーキングペンの製造業に適用されている中小企業信用保険法第2条第3項第5号に係る「特定業種」の指定が改めて本年3月末日まで延長されました。「特定業種」に指定されますと、金融機関から借入をする際に信用保証協会の「特例保証」を受けられます。特例保証を含む保険限度額は、普通保険4億円、無担保保険1億6千万円、特別小口保険2,500万円です。（お問い合わせは事務局まで）

#### 総会のご案内

「第3回通常総会」は5月13日(木)午後5時からです。会場は上野精養軒です。例年の通り、総会終了後に懇親会を実施します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

#### 《経済産業省からのお願い》

経済産業省では、第11回目の「経済産業省企業活動基本調査」(指定統計第118号)を平成16年6月1日現在で実施いたします。調査に対する御協力をお願いいたします。

2月4日、元東京万年筆事業共同組合理事長であられた外川照雄様をご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

### ISOT2004にて、 模倣品対策事業を行います

本工業会は、(社)全日本文具協会に協力して、ISOT2004(7/1～7/3、於・東京ビッグサイト)の会期中、模倣品対策事業を実行する計画です。

#### 模倣品対策事業

- ・公的機関の模倣防止に関するパンフレットを配布します
- ・侵害品実態調査を実施します(会期初日) 出展申込書へ模倣防止に関する条項の掲載をします。
- ・模倣品対策セミナーの開催を実施します(7/2 午後2時から)
- ・真正品と模倣侵害品の比較展示コーナーを設置します。
- ・弁理士常駐による相談コーナーを設置します。
- ・警察庁による見本市会場視察(参考視察)を行います。
- ・日米欧筆記具工業会三極情報交換会議を実施します。(7/2 午前11時～午後1時)

## 2003年【年間】平成15年 1~12月 の出荷・輸入・輸出

繊維・生活用品統計 (国内向け販売と輸出向け販売を含む)

(金額はすべて百万円)

出荷	単位	2003年・年間		2002年・年間		前年変動率 %	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	483,710	30,687	438,996	27,794	10.2%	10.4%
ボールペン(水性)	千本	894,101	38,750	975,309	43,571	8.3%	11.1%
マーキングペン	千本	730,978	38,773	737,582	39,492	0.9%	1.8%
シャープペンシル	千本	240,117	17,368	272,846	18,488	12.0%	6.1%
鉛筆	グロス	2,714,174	8,585	2,735,985	8,708	0.8%	1.4%
シャープしん	千本	3,504,985	6,163	3,662,027	6,872	4.3%	10.3%
クレヨン・パス	千本	102,871	1,604	120,837	1,731	14.9%	7.3%
水彩絵の具	千本	66,327	2,804	65,385	2,676	1.4%	4.8%
修正液	千本	52,050	4,871	59,875	5,481	13.1%	11.1%
修正テープ	千個	89,519	8,634	78,113	7,985	14.6%	8.1%
合計金額			158,239		162,798		2.8%

03年の統計が確定した。出荷は油性ボールペン、修正テープ等に支えられ前年より回復した。製品輸出はほとんどの分野で不振で、昨年より厳しさを増した。輸入の増加率1.9%は昨年とまったく同率だった。年当期の国内消費力推定は「プラス3.4%」で、02年のマイナス6.7%、01年のマイナス5.0%より大幅に改善した。(国内消費力推定は主要5品目の出荷・輸出+輸入金額の前年比)

### 日本貿易統計

輸出	単位	2003年・年間		2002年・年間		前年変動率 %	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	265,567	9,889	301,847	11,177	12.0%	11.5%
ボールペン(水性)	千本	704,205	30,144	741,054	33,035	5.0%	8.8%
マーキングペン	千本	311,214	13,024	327,411	14,157	4.9%	8.0%
シャープペンシル	千本	159,072	7,701	188,674	8,868	15.7%	13.2%
万年筆	千本	5,752	864	5,243	751	9.7%	15.0%
以上のセット品	千本	741	115	1,148	152	35.5%	24.1%
鉛筆	グロス	173,081	390	482,210	429	64.1%	9.1
(補足：重量)	kg	120,468		172,744		30.3%	
シャープ用しん(鉛筆しんを含む)	kg	463,261	2,725	505,849	3,034	8.4%	10.2%
クレヨン	kg	33,775	115	65,070	198	48.1%	41.7%
ボールペン用中しん	千本	204,074	2,900	217,431	3,287	6.1%	11.8%
マーカー用ハシ先及びコブポイント	千本	3,748,982	6,385	3,830,233	6,221	2.1%	2.6%
シャープ部品・附属品	kg	170,367	938	146,144	753	16.6%	24.6%
万年筆及びマーカーの部分品	kg	1,633	4,624	1,264	4,344	29.2%	6.4%
合計金額			79,815		86,406		7.6%

### 日本貿易統計

輸入	単位	2003年・年間		2002年・年間		前年変動率 %	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	205,857	5,864	197,276	6,008	4.3%	2.4%
マーキングペン	千本	222,314	2,789	188,026	2,499	18.2%	11.6%
シャープペンシル	千本	38,533	1,087	37,024	1,171	4.1%	7.2%
万年筆	千本	1,354	909	836	849	61.9%	7.0%
以上のセット品	千本	2,401	154	2,332	188	3.0%	17.8%
鉛筆	kg	2,177,136	1,326	1,830,099	1,227	19.0%	8.1%
しん	kg	318,368	386	289,891	309	9.8%	25.0%
パステル、チョーク	kg	1,238,229	570	1,266,314	639	2.2%	10.7%
ボールペン用中しん	千本	40,966	350	46,172	423	11.3%	17.2%
ハシ先及びコブポイント	千本	94,356	251	114,806	191	17.8%	31.3%
マーカー用ハシ先又はシャープの部品	kg	773,788	1,696	612,259	1,602	26.4%	5.9%
ハシ軸、その他部分品	kg	127,317	259	100,147	245	27.1%	5.8%
合計金額			15,642		15,351		1.9%